

2022年2月6日(日)

# 日本人の強み

群馬大学 電子情報部門 小林春夫

彼を知り己を知れば百戦殆うからず - 孫子

## ● 彼を知る

最近 半導体産業関係の一般報道が活発であり、その中で台湾企業の日本への誘致が関心を集めている。台湾企業がなぜすごいか、技術やビジネス戦略の詳しい説明がなされるがほとんどの日本人はすっきりしないのではないか。それは基本的に「台湾の人たちが極めて優秀である」ということを心底理解していないからであろう。自省の意味を込めてであるが、日本人は他のアジア系（白人以外）の人たちを軽く見るようなところがある。米国のTVドラマ「シリコンバレー」でアジア系技術者が「日本人は我々を軽くみる」と話すシーンがでてきて、「やっぱりそうか」と思った。

私も米国の大学に行く前まではそうだった。が、米国の大学にいて認識が一変した。例えば同じ講義を聴き同じ試験を受けという同じ土俵で競争したときどうだったか、このくらい優秀な日本人ならこのくらいの結果であろうとそのレベルが比較・推測できたのである。台湾企業の詳しい技術や経営の説明を受けなくても理解できなくても「米国にいた彼ら/彼女らが台湾に戻ってやっているだけだ」との信用で納得してしまう。特に工学分野では電気電子工学分野だけに限らず米国では大学でも産業界でもアジア系の人たちが大活躍してきわめて優秀である。これを認識しなければなぜ台湾の会社がそんなにすごいのかということは心底は理解できないと思う。

## ● 己を知る

正直、1対1では日本人は（少なくとも自分は）とても能力的にかなわないと思った。が、当時は日本の製造業は世界を席卷していた。では日本が優れているところは何か。そこで聖徳太子の「和を以って貴しとなす」との言葉が思い出された。日本人は集団になると結束して非常に強い。これが日本の強みであると思う。